



株式会社学生情報センター
代表取締役社長

吉浦 晴博

あらゆるステークホルダーをつなぎ、新たな価値創造へ

学生情報センターを中心とするナジックグループは、東急不動産ホールディングスの一員として、学生マンション事業、学校・キャリア支援事業、社会貢献活動への支援事業の3つの事業を展開し、安全・安心な住まいの提供からキャリア教育、ボランティア、就職活動、アルバイト紹介に至るまで、学生生活をトータルに支援しています。

私たちは一貫して、「すべては学生のために」を事業の根幹に置き、学生や学校を取り巻くステークホルダーの皆さまとともに学生支援に取り組んでまいりました。現在、43,000室の学生用住居を管理運営し、提携する全国530を超える学校や教育界・地域と密接に関わりながら事業を展開できているのも、ひとえに長きにわたりご信頼とご期待を寄せていただいております保護者さま、教育界や地域の皆さま、企業の皆さま、そしてマンションオーナーさまのご理解の賜物と厚く御礼申し上げます。

私たちの価値は、何かと何かを「つなぐ」ことから生まれます。政府が掲げる「留学生30万人計画」に沿った留学生の就職・定着支援、学生の実践力強化に資するインターンシップ推進など、教育界が抱える課題に真摯に向き合いながら、学生が社会や世界とつながる魅力的な機会を提供してまいります。

愛情を込めて学生の生活とキャリア形成をサポートし、生涯にわたって輝き続ける人材を社会に送り出すことで、誇りある未来を創造するために——。私たちは、あらゆるステークホルダーを有機的に結びつける総合プラットフォーム企業をめざして、これからも新たな価値創造に努めてまいります。

東急不動産ホールディングスグループ



東急不動産ホールディングスグループは、価値を創造し続ける企業グループとして、ハコやモノの枠を超えて、ライフスタイルを創造・提案しています。持株会社である東急不動産ホールディングスの下、東急不動産、東急コミュニティー、東急リパブル、東急ハンズ、東急住宅リース、学生情報センターの主要6社を中心に、都市事業、住宅事業、管理事業、仲介事業、ウェルネス事業、ハンズ事業、次世代・関連事業の7つの事業を展開しています。理想の街づくりをめざして先駆的に取り組んだ田園調布の開発（1923年）以来、脈々と受け継がれる「挑戦するDNA」とグループ総合力を活かして、お客さまに新たな価値を提供し続けています。

T-STORIES：安心で安全な一人暮らし「ナジック学生マンション」篇

東急不動産ホールディングスグループの仕事と人を紹介するショートムービー集「T-STORIES」。そのナジック版が2017年12月に公開されました。オーナーさま、入居学生とご両親、そしてナジック役員や社員のインタビューが収められています。ぜひご覧ください。

www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/efforts/t-stories/



ナジックウェルカムパーティ2018 開催日程

学生のみなさま、ご入学おめでとうございます

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 5月10日(木) ホテル阪急インターナショナル(大阪) | 6月13日(水) 東京ドームホテル(東京) |
| 5月22日(火) ホテル日航福岡(福岡) | 6月18日(月) 仙台国際ホテル(仙台) |
| 5月30日(水) 名古屋東急ホテル(名古屋) | 6月29日(金) 京王プラザホテル(東京) |
| 6月 7日(木) ホテルグランヴィア京都(京都) | |

学生情報センター www.nasic.co.jp 学生マンション情報 749.jp 学生キャリア支援 www.nasic-is.co.jp

ナジックニュース2018 (Vol.23)

発行日：2018年4月27日 発行元：株式会社学生情報センター 発行人：吉浦 晴博

京都本社 〒600-8216 京都府京都市下京区烏丸通七条下ル ニッセイ京都駅前ビル6F TEL:075-352-0033(代)
東京 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-52-2 青山オールドビル10F TEL:03-5466-1200(代)

東急不動産ホールディングス



NASIC NEWS

2018 NATIONAL STUDENTS INFORMATION CENTER ナジックニュース

Vol.23
学生情報センターグループ年刊誌



ますます、学生のために。
これからの社会のために。

学生マンション事業

住まいの拡充と進化

- 学校寮の新規開発・管理受託 (京都大学、東京工業大学、流通科学大学)
- 新しい学生レジデンスの開発運営「CAMPUS VILLAGE」
- 全国の新築マンション(各地域の代表物件紹介)
- 「女子学生会館ブリックス」での青森フェア開催
- 学校専用安否確認システム「LINE」連携機能開始
- 管理マンションへのデジタルサイネージ設置推進
- 「(仮称)東急ステイ京東両替町通別館」施工開始

[Go to PAGE 02](#)

学校・キャリア支援事業

学生と社会をつなぐ

- インターンシップスカウトサイト「スカウトシップ」開設
- 東京工科大学「コーオプ実習発表会」開催
- 神奈川県「グローバル人材支援事業」運営
- その他の留学生事業支援
- 学校公認サイト「バイトネット」リニューアル
- 「学生アルバイト実態調査2017」発表
- 道の駅「奥河内くろまろの郷」インターンシップ提供
- 「親子で就活セミナー」開催

[Go to PAGE 05](#)

社会貢献活動への支援事業

国際交流と学生サポート

- ベトナム学生との国際交流活動
- 学生の自発性・創造性を育む支援活動



[Go to PAGE 07](#)

私たちは、愛情を込めて学生の生活とキャリア形成をサポートし、生涯にわたって輝き続ける人材を社会に送り出すことで、誇りある未来を創造していきます。

東急不動産ホールディングス



| 学生情報センター | ナジック・アイ・サポート | 北和建設 | ホーミック | ナジック教育ソリューション | シグマジャパン |

学生マンション事業の企画から入居募集・管理・運営に至るまで、独自のビジネスモデルに基づく一貫したサポートを提供しています。

■ 学校寮の新規開発・管理受託

地方からの学生確保、増加する留学生の受け入れやグローバル化の進展に伴い、国際交流施設確保のニーズが高まっています。各学校で積極的な学生寮整備が進むなか、ナジックでも新たに国際交流施設の管理運営業務を受託しました。

京都大学「国際交流会館」(京都)

2017年11月、京都大学国際交流会館整備・運営事業の事業者選定において、ナジックは積水ハウスを代表とするグループに参画し、運営事業者として採択されました。主に留学生向けとして京都市左京区百万遍にシェアタイプ86室(写真左)、主に海外研究者向けとして東山二条にワンルーム50室(写真右)の計136室を計画。入居者同士で活発にコミュニケーションを図ることができる交流スペースを各階に配置します。2018年12月に着工、2019年10月の供用開始をめざしています。



東京工業大学「南品川ハウス」(東京)

目黒区大岡山などにキャンパスを持つ東京工業大学では、2018年春、外国人留学生と日本人学生混住型の男子寮「南品川ハウス」を新設しました。グローバル教育推進を新しい教育システムに掲げ、多様性を重視する同大学の取り組みの一環です。初めて日本を訪れる留学生にも安心して学生生活を始めてもらえるように、家具家電付きの部屋も準備されています。



流通科学大学「RYUTOPIA《りゅうとぴあ》」(兵庫)

神戸市西区の流通科学大学で新設された、日本人学生と海外の留学生がともに生活する寮「国際交流施設 学生寮 RYUTOPIA《りゅうとぴあ》」は、異文化交流を通して入寮学生のスキル向上を図る教育寮です。全室個室でありながら6人でラウンジやキッチンを共有するユニット制が導入され、女子学生専用エリアも完備。24時間管理人が常駐するなど、セキュリティにも重点が置かれています。



■ 全国の新築マンション(各地域の代表物件紹介)

少子化が進む環境下においても、大都市圏の安全・安心な学生マンションのニーズは堅調に推移しています。大学キャンパスの移転・拡大に伴う学校施設の拡充ニーズが高まり、キャンパス通学圏では、従来より大型の学生用住居の新規開発が進んでいます。

「プライムメゾン江古田の杜」(東京)

約6万㎡の江古田の森公園の自然に恵まれ、徒歩圏に複数の大学キャンパスがある好立地に、積水ハウスグループにより「多世代により育まれる持続可能な地域をつくる」をコンセプトに大規模開発された「江古田の杜プロジェクト」。子育て世代、学生、高齢者が住まう賃貸エリア「プライムメゾン江古田の杜」に計画された学生住空間をナジックが担います。レストラン・ラウンジ、キッズルームなど充実した施設で、防音室などを備えた隣接のリブインラボも利用できます。



「グランテラス八事広路町」(愛知)

名古屋市昭和区広路町にて、東急不動産を事業主とし、ナジックが管理運営を行う全60室の学生マンション「グランテラス八事広路町」を開発しました。東急不動産の学生レジデンス事業で東海圏初となった物件で、工事を北和建設が担っています。竣工後は、新東昭不動産株式会社が東急不動産より物件を譲り受けています。名古屋大学をはじめ、中京大学、南山大学、名城大学などの教育施設や研究施設、文化施設が多数集積し、緑あふれる閑静な邸宅が立ち並ぶ住環境に優れた文教地区です。



■ 新しい学生レジデンスの開発運営

CAMPUS VILLAGE

東急不動産の学生レジデンス「CAMPUS VILLAGE」は、「次の社会を担う学生たちへ、安全安心な住環境とともに、新しいライフスタイルを提案する住まい」です。ナジックが管理運営を担い、きめ細やかな24時間の管理だけでなく、入居者同士のコミュニティ形成促進を図ります。

「キャンパスヴィレッジ椎名町」(東京)

都内の多くの大学への通学圏であり、池袋をはじめ都心へのアクセスのよい西武新宿線「椎名町」駅徒歩9分のエリアに、2018年1月、「CAMPUS VILLAGE」第一号が竣工し、全167室を管理運営しています。食事付き(選択制)、家具付きで、フロアごとにさまざまな海外国のスタイルを採用した共用キッチンを設置。4月には初のウェルカムパーティが開催され、多くの入居者が参加して盛況となりました。



「キャンパスヴィレッジ京都西京極」(京都)

京都市右京区西京極で事業化が決定し、2018年4月に着工した関西圏初の「CAMPUS VILLAGE」で、全115室の開発を東急不動産と共同で行います。京都外国語大学、京都光華女子大学、京都学園大学など多数の大学が集積。緑豊かな自然が広がり、天神川の桜並木が見える優れた住環境で学生にも人気のエリアです。



「キャンパスヴィレッジ志茂」(東京)

東洋大学、東京大学、東京理科大学、上智大学など沿線に大学が林立する東京メトロ南北線「志茂」駅から徒歩8分のエリアで、全232室の学生レジデンスが2019年1月に竣工予定です。エントランスから続く中庭の先にカフェテリアを配置した開放感のあるレイアウトで、学生の交流が活発に図れる住空間を提供します。



「キャンパスヴィレッジ元住吉」(神奈川)

慶應義塾大学日吉キャンパス、青山学院大学、國學院大学などにアクセスのよい東急東横線「元住吉」駅から徒歩10分、個性あふれる店舗が立ち並ぶブレイメン通り商店街を抜けた閑静な住宅街に立地します。贅沢なキッチンスペースで、学生が調理を通じてコミュニケーションが図れ、また、グローバル化に力を入れる川崎市イベントへの参加などを通じて、国際色豊かにキャンパスライフを過ごせるようイメージされています。

「トレエッセ茨木」(大阪)

立命館大学大阪いばらきキャンパス至近で、複数路線が利用できる利便性の高い全77室の学生マンションです。JR西日本グループの株式会社新大阪ステーションストア所有の社宅跡地活用策として、ナジックの提案により事業化され、北和建設が工事を担いました。IHコンロ2口のキッチンや温水洗浄便座のトイレ、入居者への情報配信のためのデジタルサイネージ(電子掲示板)設置など、設備の充実を図りました。



「ラビグレイス甲子園」(兵庫)

阪神甲子園球場の最寄駅、阪神「甲子園」駅前に誕生した学生マンションです。1、2階をテナント、上層階を社員寮として利用していた物件をリニューアル。耐震補強を施し、住居部分は女子専用マンションとして生まれ変わりました。防犯面はもとより各階共用部に姿見やデザインパネルを配置し、デザイン性も重視しています。大阪や神戸へのアクセスにも優れた申し分ない立地で、快適な学生生活が送れます。



「ソアラプラザ九大学研都市」(福岡)

キャンパス統合へ向けて移転が進む九州大学伊都キャンパスの玄関口、JR「九大学研都市」駅徒歩1分の好立地に、全126室の大型学生マンションの建設が進んでいます。箱崎キャンパスへの文系学部移転時期に合わせ、2018年8月に竣工予定。事業主はナジックマンション最大のオーナーである日本土地建物株式会社です。セキュリティに配慮され、周辺には商業施設や医療施設も充実。博多や天神など都心部へのアクセスも良好です。



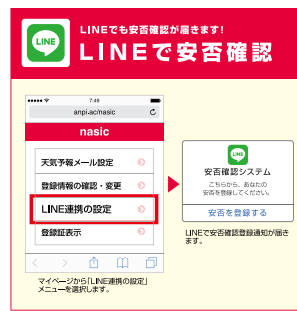
■ 「女子学生会館ブリックス」での青森フェア開催

2017年10月、赤レンガ造りの建物と広い中庭が特徴的な「女子学生会館ブリックス」（東京都町田市）で開かれた青森県主催「田舎×kawaii青森」フェアに、管理運営を行うナジックが協力しました。青森県の最重要課題である人口減少克服に向けた取り組みの一環として、首都圏の若年層における青森ファン獲得をめざすイベントで、青森の郷土料理が振る舞われ、鮭の解体ショーやホタテさばき体験、青森県ツアー招待券抽選会などが行われました。当会館の入居者が企画し、学生時代、東日本大震災復興支援のために立ち上げたボランティアサークル活動でふるさとへの想いが強まり、青森県への就職と当イベントの実現につながったそうです。



■ 学校専用安否確認システム「LINE」連携機能開始

安否確認通知を、いまや生活インフラ化している「LINE」でも受け取ることができるようになりました。当システムは、ナジックが開発した、学生、保護者、教職員の三者間で相互に安否確認を行えるシステムで、現在全国96校、10万8千人にご利用いただいています。震度5強以上の地震発生時に、安否を問い合わせるメールが学生に自動配信され、そのメールに返信するだけで学校や保護者、親戚、友人などへ安否を一斉に通知することができます。



■ 管理マンションへのデジタルサイネージ設置推進

ナジックが管理運営する学生マンションの入居学生に対して、学校に関連した情報提供の充実をめざし、2018年春、新築の「トレエッセ茨木」（大阪府茨木市）のエントランスにデジタルサイネージ（電子掲示板）を設置しました。従来は紙でマンションの掲示板に掲示していた入居者への案内のペーパーレス化となり、画像や動画を含むコンテンツを遠隔操作で発信できることによる管理業務の効率化や、マンションの美観向上も期待されています。今後、マンション周辺情報やアルバイト情報、就活関連の情報など、学生生活に役立つコンテンツの充実を図りながら、他の管理マンションへも積極的に導入し、入居学生を応援していきます。



■ 「(仮称)東急ステイ京都両替町通別館」施工開始

京都3棟目となる滞在型ホテル「東急ステイ」を北和建設が施工中です。2017年11月にオープンした「東急ステイ京都両替町通」の斜め向かいに位置する別館として、2018年冬のオープンをめざしています。ファミリーやレジャーにも対応できる、3名から4名でも宿泊可能な客室を増やし、「両替町通」と合わせて多様な客室構成を実現。「はなれ」としてひっそり佇み、プライベート感や落ち着き、京都らしさを感じることでできる施設として計画されています。



営業拠点の再編

ナジックでは、事業基盤強化を目的に営業体制を抜本的に見直し、東日本本部の営業拠点の統合を含む新たな体制にて事業活動を行っています。この再編により、首都圏事業の拡大、各拠点事業規模の拡大、ウェブ戦略の強化、ICT活用によるビジネスモデルの転換を図ります。拠点の統合・移転では、お客さまの利便性の向上と合わせ、接客スペース拡大などのレイアウト変更を行い、お客さまが快適に過ごせる店舗へと刷新しました。



〈店舗統合・移転のご案内〉

- ・町田店（本厚木店と町田店を統合・移転）
- ・渋谷店（表参道に移転）
- ・お茶の水店（柏店とお茶の水店を統合）
- ・新宿店（吉祥寺店を統合・移転）

教育機関および各機関との連携を図りながら、学生のための環境づくりをめざしています。

また、学生が企業での就業体験を通じて就業力を身につける学生就業体験事業「ワークプレイズメント」を展開しています。

■ インターンシップスカウトサイト「スカウトシップ」開設

学生の自己分析、志向性や360度評価を見て、企業が学生をインターンシップにスカウトするのをAIが支援するという新しい形のインターンシップスカウトサイトを、株式会社イーウェルと共同開発し、2018年5月より本格運営しました。

学生にとっては、就業体験によって実践力の育成が図れ、またアセスメントや他者・企業からのフィードバックを受けることで自己理解が深まり、企業にとってはインターンシップに応募してくる学生以外に広く求める学生との接点を作ることになります。大学にとっても学生の傾向分析などをキャリア教育に活用できる機能があり、インターンシップ促進と学生の育成に寄与するものです。



■ 東京工科大学「コーオプ実習発表会」開催

2015年度より、東京工科大学新設の工学部で、地域のものづくり企業での実務体験を必修とした「コーオプ教育」が導入され、ナジック・アイ・サポートは準備段階からその運営に携わっています。2018年1月、東京工科大学八王子キャンパスにて、この実習を終えた工学部の学生211名が、企業の方々や下級生に対してポスターで成果を発表しました。

大学での学習の重要性を実感した学生、年長者との会話のために新聞購読をはじめた学生、実習後のアセスメントで創造性が伸びたと報告する学生、報連相や段取りの必要性を実感した学生など、みな自分たちの言葉で生き生きと話し、来場者も聞き入っていました。



■ 神奈川県「グローバル人材支援事業」運営

ナジック・アイ・サポートを代表企業として、学生情報センター、一般社団法人日本留学生会協会と共同で、前年度に続き、「平成30年度神奈川県グローバル人材支援事業」を運営しています。留学生支援拠点「かながわ国際ファンクラブ かなファンステーション」の運営を核に、交流イベントやウェブサイト・SNSなどから情報を発信しています。



今年度からは、横浜国立大学、横浜市立大学、関東学院大学、外語ビジネス専門学校、柏木実業専門学校、神奈川経済専門学校、YMCA健康福祉専門学校、アジア国際語学センターの計8拠点で留学生サポートを行っています。今後も留学生の総合窓口として、利用者数の増加および稼働拡大を図るとともに、神奈川県やサポート会員企業、大学や各種団体と協力して外国人留学生総合支援につなげていきます。

■ その他の留学生事業支援

2016年度にスタートした留学生スタディ京都ネットワークの「留学生対象有給インターンシップ事業」（写真上・下）、2009年から継続している大学コンソーシアムひょうご神戸の「ひょうご留学生インターンシップ事業」、2017年度まで実施された大阪市の「留学生との連携拡大事業」など、ナジックでは留学生を対象とした事業の運営に携わっています。

また、これらのノウハウを活かし、日本企業への就職を希望する留学生に向けた「留学生向けビジネスキャリア研修」（2017年度は大阪経済法科大学で実施）や、留学生の採用を考える企業に向けた各種セミナー（2017年度は京都市における留学生の就職支援・マッチング事業のセミナー、滋賀経済産業協会の外国人留生活活用セミナーなどを実施）への登壇機会をいただいています。



■ 学校公認サイト「バイトネット」リニューアル

ナジック・アイ・サポートが運営する学校別の学生アルバイト情報ネットワーク「aines (アイネス)」は、2003年のウェブサイト開設以来、学校が設定した基準をクリアした安心・安全なアルバイト情報のみを審査して掲載し、国内唯一の学校公認アルバイト紹介サイトとして、数多くの学生にご利用いただけてきました。ブラックバイトへの注意喚起など、学校と連携した啓発活動も行っています。

2018年4月、利便性向上を目的にサイトリニューアルを行い、名称も「バイトネット」に変更して新たなスタートを切りました。リニューアルでは、学生がスマホからスムーズに応募できるよう、ユーザーインターフェースを改善し、検索機能を強化するとともに、募集内容の評価機能やポイント付与の仕組みなどを新設。また、募集についてタイムリーな改善対策が打てるように募集効果を可視化するなど、求人側にも配慮した設計となっています。

バイトネット



■ 「学生アルバイト実態調査2017」発表

学生アルバイト情報ネットワーク「バイトネット」の利用者ならびにナジックが管理する学生マンションや学校寮などの学生を対象に、2017年11月、アルバイトとインターンシップの実態調査を行いました。人気のアルバイトはカフェ、経験職種1位は食事メインの飲食店。アルバイト選びに重視するのはシフトの融通性や時給、アクセスで、長期のアルバイトを希望する学生が多いなど、興味深い結果となっています。詳細は学生情報センターのコーポレートサイトをご覧ください。

■ 道の駅「奥河内くろまるの郷」インターンシップ提供

ナジック・アイ・サポートは、道の駅「奥河内くろまるの郷」より委託を受け、地域の大学と取り組むPBL型（課題解決型）教育プログラムとして有給インターンシップを提供し、学生によるイベント企画や販促、運営活動を支援しています。地域大学との連携による道の駅の活性化を目的に、新たな観光資源の発掘やイベント企画運営、広告などのマーケティング活動を学生が推進します。学生目線でのウェブサイトの新設やSNS経由の発信に期待が集まっています。帝塚山学院大学人間科学部食物栄養学科と連携し、当活動をコーディネートしています。



■ 「親子で就活セミナー」開催

2017年12月、フジサンケイ ビジネスアイとナジック・アイ・サポート共催で「親子で就活セミナー in 東京」を開催しました。大学3年生と保護者40名が出席し、企業の創業者やベンチャー企業を含む4社の社長、人事採用コンサルタントによる講演が行われました。続いて実施した各社の若手社員によるパネルディスカッションでは、就活当時の志望動機や現在の仕事のやりがいなどが発表されました。「知名度に惑わされない企業選びの視点を持つことができた」など、満足度の高い意見が保護者や学生から多く聞かれました。



ナジック杯大学スポーツ新聞コンテスト

2018年1月、報知新聞社とナジック共催で「第11回スポーツ新聞コンテスト」が行われました。報知新聞社が10年にわたって大学のスポーツ新聞制作に携わる学生にエールを送ってきた当コンテストは、年々応募大学が増え、今回からナジックが支援しています。1月13日に開催された表彰式・懇親会では、空手で東京五輪の金メダルが期待される清水希容選手をゲストに迎え、会は盛況のうちに終了しました。

読売新聞折り込みの記念号外

学生の生活に関わる各種の支援事業活動を通じて、心や人間性の充実した学生生活の実現を推進し、我が国の高等教育の振興に寄与することを目的としています。

■ ベトナム学生との国際交流活動

第11回ナジックカップ日本語スピーチコンテスト

2017年9月、ハノイ国家大学外国語大学、ハノイ大学、ハノイ工科大学、ハノイ貿易大学、タンロン大学の協力のもと、ハノイ国家大学外国語大学にて、日本語スピーチコンテストを開催しました。コンテスト審査委員として、在ベトナム日本国大使館、国際交流基金ベトナム日本文化交流センター、在ベトナム日本商工会などの関係者にもご参加いただき、100名を超える第1次審査通過者から第2次予選を勝ち抜いたベトナム人学生12名が本コンテストに出場。緊張感と熱気あふれる満席の会場のなか、最優秀賞1名、優秀賞5名が選考されました。また、渡越中にはハノイ市内の大学、日本語学校、日系企業への訪問・懇親会を通じて、相互理解と友好関係を深めました。



2017日本・ベトナム学生交流会

2017年10月、15回目となる一般財団法人学生サポートセンター主催「日本・ベトナム学生交流会」の歓迎レセプションを東京・京都の両会場で開催しました。ベトナム教育訓練省学生活動管理副局長のブイ・ヴァン・リン団長、ベトナム教育訓練省学生活動管理局のグエン・スアン・ハー副団長に加え、ベトナム19大学から29名（「第11回ナジックカップ日本語スピーチコンテスト」の最優秀者、優秀者6名を含む）のベトナム学生訪日団を日本へ招待し、関東・関西の主要大学の見学や歓迎レセプションを行いました。ブイ・ヴァン・リン団長は、「貴重な機会をいただき、光栄です。両国の交流活動がますます発展し、学生が成長することを期待したい」と述べられました。



■ 学生の自発性・創造性を育む支援活動

平成29年度学生ボランティア団体助成・学生ビジネスプランコンテスト表彰式

2018年2月、一般財団法人学生サポートセンター「学生ボランティア団体助成」および「学生ビジネスプランコンテスト」（創造性涵養事業）の表彰式を東京・京都の両会場で開催しました。各選考委員会の厳正な審査のもと、46の学生ボランティア団体（45大学1専門学校）および21作品の助成ビジネスプラン（20大学1専門学校）が採択され、表彰式当日は受賞団体の学生や学校関係者を中心に東京会場100名、京都会場80名、合わせて約180名の方々にご出席いただきました。



東京会場の表彰式では、文部科学省高等教育局学生・留学生課長の井上諭一氏よりご祝辞をいただきました。ボランティア団体への表彰状贈呈は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構顧問（元・東京工業大学学長）で当財団理事、ボランティア選考委員会委員長の木村孟氏（東京会場）、関西大学副学長の高増明氏（京都会場）より、ビジネスプランコンテスト受賞者へは学校法人東京理科大学元理事長・会長で当財団理事、創造性涵養選考委員会委員長の塚本桓世氏（東京会場）、大阪電気通信大学副学長の森幸治氏（京都会場）より、それぞれ贈呈されました。懇親会では、ご参加いただいた学校関係者や学生同士が活発な情報交換を行うなど、盛況な交流の場となりました。



東急不動産によるビジネスプラン発展プログラム新設

2018年より、学生の自由な発想をより現実的なものとする中で、起業を含めた将来のビジネス形成の一助とすることを目的に、東急不動産による「(仮称)ビジネスプラン発展プログラム」が新設され、「学生ビジネスプランコンテスト」受賞者を対象とした募集がスタートしました。3月には、オリエンテーション・懇親会が開催され、プログラムの最後にはピッチイベントへの登壇が予定されています。